

クロダブラシが“提案推奨する”除菌洗浄クリーニング方法

「**フィリオ 30&ロータスクイーン**新除菌洗浄システム」のワンポイントアドバイス

◆ポリッシングブラシ編(一般医療機器)

歯科予防治療用ブラシ(ポリッシングブラシ)等の除菌洗浄方法について。



弊社製品

クロスターカラーポリッシングブラシ (RAタイプ)

ジュエル

Crostar Collar Polishing Brush JEWEL

ステップ①(水洗)

口腔内使用後にポリッシングブラシ(RAタイプ)の洗浄効果を高めるため流水下で1度水洗いを行ってください。



ステップ②(確実な除菌洗浄と脂分・タンパク除去)

弊社推奨・高濃度次亜塩素酸弱酸性水(スカイレインボー社・**フィリオ 30**)を **10倍希釈液**に、中性ナノ洗浄液(スカイレインボー社・**ロータスクイーン**)を **少量混合**し、**除菌洗浄液**をつくります。
汚染物を**超音波洗浄器**で**5分間・浸漬除菌洗浄**を行います。

**除菌洗浄混合液の希釈方法

◇水 1L に対して (フィリオ 30. 100cc/ロータスクイーン 3~4cc)



対



ステップ③(再水洗)

超音波洗浄後、再度流水下で十分洗浄を行ってください。



ステップ④(滅菌)

推奨滅菌方法としては、高水準消毒剤の化学的殺菌消毒(グルタラール製剤・フタラール製剤)。
化学的殺菌処理(5分間以上浸漬)後は、流水下で1分以上十分洗浄して乾燥を行ってください。
乾燥不十分では金属部等の変色・サビ発生の原因となります注意してください。

*下記滅菌方法は一般的に多くの医科・歯科医院で使用されている代表的滅菌方法。

①オートクレーブ滅菌器等の高圧蒸気滅菌。

- 長所：普及率が高く、医科・歯科医院で一般的に行われている方法で、熱に耐えられる器具の滅菌に有効。
- 欠点：動物毛材の場合、反復滅菌で脂分を失い毛材の柔軟性が低下し毛切れ・毛抜け等の原因になります。
：ナイロン毛材の場合、高温環境下での反復滅菌を行うため毛材が劣化しやすくなります。

②過酸化水素低温ガスプラズマ滅菌。

- 長所：高額機器ですが熱に耐えられない器具や、加熱滅菌ではサビてしまう器具の滅菌に有効。
- 欠点：動物毛材の場合、脱色(漂白)が特に起きやすく毛材の脂分も失い、柔軟性が低下し毛切れ・毛抜け等の原因になります十分注意してください。

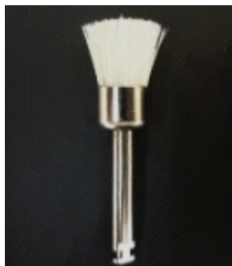
③化学的殺菌消毒(グルタラール製剤)等を含む高水準消毒。

- 長所：熱に耐えられない器具及び加熱滅菌ではサビてしまう器具等の滅菌に有効。
- 欠点：揮発毒性が強く薬剤の種類及び濃度により動物毛材の場合は、特に脱色(漂白)変色が起きやすく毛切れ・毛抜け等の原因になります十分注意してください。

化学的殺菌処理(5分間以上浸漬)後、金属部はサビ発生等の原因となりますので、流水下で1分以上十分に洗浄し乾燥を行ってください。

※水洗・乾燥の重要性

水洗・乾燥がしっかり行えた例



不十分な水洗・乾燥による変色した例



** フィリオ 30 は次亜塩素酸ナトリウムなどの塩素系消毒剤と全く違う性質を持っております。
次亜塩素酸ナトリウム(NaClO)は次亜塩素酸(HClO)の力で除菌効果を発揮させる。
弱酸性領域にする事で、アルカリ性の約 80 倍以上の除菌効果が発揮される事も広く知られている。

◆フィリオ 30(サーティ)とは?



フィリオ 30 は、アルカリ性の次亜塩素酸ナトリウム (NaClO) 80 倍以上の除菌効果を発揮させる弱酸性領域に、特許製法で(アルカリの次亜塩素酸ナトリウム)を酸(塩酸やクエン酸)等を混ぜずに、弱酸性の次亜塩素酸に変換させる)水溶液である為、低濃度*10 倍希釈 (50ppm) でも、非常に強い除菌効果を発揮させる事が可能である為、ブラシ等の材質に優しく、短時間で細菌やウイルスを除去する事ができます。*2015 年 1 月特許取得。

◆ロータスクイーンとは?



ロータスクイーンは、特許製法による油脂分を超微細粒子状に分散させ、強力に汚れに浸透し洗浄効果を発揮すると同時に油脂の再結合・再付着を防止するため、配管内も日常的に洗浄され臭いの改善に役立ちます。※2015年 特許取得

◆フィリオ 30 とロータスクイーンを混合する事で、強い除菌効果・タンパク・油脂等の汚れも洗浄できる。



* フィリオ 30 とロータスクイーンの除菌洗浄混合液を、超音波洗浄器と併用する事でその後の高水準消毒液による、消毒効果の時間も早める事が可能です。●第三者検査機関による上記 2 製品の試験結果より報告。

【注意】この除菌洗浄混合液は、双方の特許により相性がよい効果を発揮されるため、他の薬剤や洗浄液などとは絶対に混合させて使用しないでください。

* 2016 年 神奈川県産業技術センター成果事例にもなりました。